

# 初級英語

FEB.

第十八卷 第十一號



すべてを戦争へ!

東京研究社發行

二月號

## 初級英語

第二十八卷 第十一號 昭和十八年二月一日發行(毎月一回一日發行)  
昭和十八年二月廿五日印刷(本誌三種類郵便物扱い) 大正四年三月三十日(第三種郵便物扱い)

定價 金三十五錢 (郵)

## 壹年英語辭典

中等學校壹、貳年生に便利な初級英語辭書  
非常時局下の英語勉強に最適の副教材

## 學生英字新聞

成蹊學園 藤原安治郎著

## 考へる樂しさ

内山常治 著

## ABCから初等英語

小野圭次郎先生著

## フル一年の英單語

語學の勉強には辭書を引くのが最も大切だが、大用の大辭書では一、二年生には無理だから簡潔な小辭書がよるしい。それには「一年英和辭典」(マイン、フアストデイクショナリ)が便利、價格も極く安い。

日本や世界の出来事がやさしい時事英語で書いてある「學生英字新聞」(即ちTHE SCHOOLD WEEKLY(スクールウィークリー))は非常な評判です。値段も一回金銭といふ廉價、一年用二年用と別々になつてゐる學力に合ったものが選べます。

皇國民として理數知識の重要なこと今よりはなへる事に興味を起させ、生きた數學の力を體得せしむる名著、「工夫する心」を初め十七篇の讀物はいづれも興味盡きぬもののみである。

本書は初めて英語を學ぶ方々の爲に著したものでABCから始めて英語全般に亘り、發音文法、單語を整理分類し、其説明は誰れにも分るやうに努めて平易簡單に述べ、且つ英語學習の根本となるべき事柄は徐々に順序を立てて説明してある。

小野圭次郎先生の低學年諸君の爲めの新著にして最も有効に練習し、最も正確に發音し容易に記憶し得る、新方法により編纂する學生諸君の英語學習上唯一無二の良書。

定價 貳拾五錢	送料 四錢	郵送金 四錢	切手代 増	附 四角切手 八枚	定價 第三學期 拾圓發行にて 五拾錢(郵税 別)	見本 註 編者 藤原 次郎 著	附 藤原 次郎 著
刊 二六〇頁	【定價】一五	【送料】一五	刊 四六頁	【定價】一三〇	【送料】一五	【各價】一三〇	【送料】一〇

東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部 東京通社出版部

1487



## 慰問袋

《英作文の練習》



皆さんの兄さんやお知合の方で遠く戦地に活躍して居られる方がありませう。私共はさういふ方々に慰問袋や慰問文などをどしどし送つて差し上げませう。

私達は 兄さんに 慰問袋を送ります。

〔書き方〕「(誰々に)(何々を)」の英

文は、先づ主語(私達は)、次に動詞(送ります)が来て、(兄さんに)+(慰問袋を)の順に書くのですが、この「に」または「を」は英語では言ひません。

〔用語〕私達は=we [ウィー]。

兄さん(に)=私達の兄=our brother [あウア ブラザ]。

慰問袋(を)=a comfort bag [ア カンフォット バッグ]。comfort は「慰み、慰安、慰問」、bag は「袋」です。

送ります=送る=send [センド]。では並べ方を間違へな

いやうにして英文に書きませう。

《答》 We send our brother a comfort bag.

山本先生が 僕等に 英語を教へて下さいます。

〔書き方〕「(僕等に)+(英語を)」と並べること、「教へて下さいます」は「教

へます」でよいのです。

〔用語〕山本先生が=Mr. [みスタ] Yamamoto. 「～先生」にあたる英語は、「～さん」の Mr. (mister の略) を付けて表し、職業をいふ teacher [ティーチャ] (教師、先生) や、「先生」と呼び掛ける時の sir [さー] (目上の男子に対する呼掛の敬語、あなた、先生) といつてはなりません。

僕等に=我々に=us [アス]。

英語を=English [イングリッシュ]。

教へて下さいます=教へる=teaches [ティーチズ]。「教へる」は teach [ティーチ] ですが、こゝでは主語の Mr. Yamamoto が三人称の単数ですから、これに -es をつけたのです。

《答》 Mr. Yamamoto teaches us English.

どうぞ 停車場へ行く道を教へて下さい。

〔書き方〕「英語で 道案内」を十二月號で習ひましたが、これは 道の問ひ方です。「どうぞ～下さい」は命令文とし、「(私に)+(道を)」と「私に」を補つて書いて下さい。またこの「教へる」は前の teach ではないけいのです。

〔用語〕どうぞ=please [プリーズ]。文の初めでも、終りに置いても(この時には前に コンマを打つ) よいのでした。

(私に)=me [みー]。

停車場=the station [ザ ステイション]。

へ行く道=the way to [ザ ウエイ トゥー]。way が「道」、「へ行く」は go to とせず、こゝでは to だけにします。

教へて下さい=教へよ (命令)=tell [テル]=show [ショウ]。道を「教へる」のは tell (語る) または show (示す) で、teach (教育する) とはいひません。

《答》 Please tell (show) me the way to the station.

## 練習問題

1. どなたが (Who) 皆さんに (you) 國語 (Japanese) を教へますか。
2. 私は彼に英語の本 (an English book) を時々 (sometimes) 貸してやります (lend)。
3. 太陽 (the sun) は吾々に光と熱 (light and heat) とを與へる (gives)。
4. どうぞその繪 (picture) を見せて (show) 下さい。

《答》 1. Who teaches you Japanese?

2. I sometimes lend him an English book.

3. The sun gives us light and heat.

4. Please show me the picture.



## 國 技 館

大角力の  
ふれ

太鼓といふものは威勢のいゝものです。今日は國技館を題にして過去の疑問文はどう作るか復習してみませう。

それには先づ現在の疑問文の復習から始めませう。

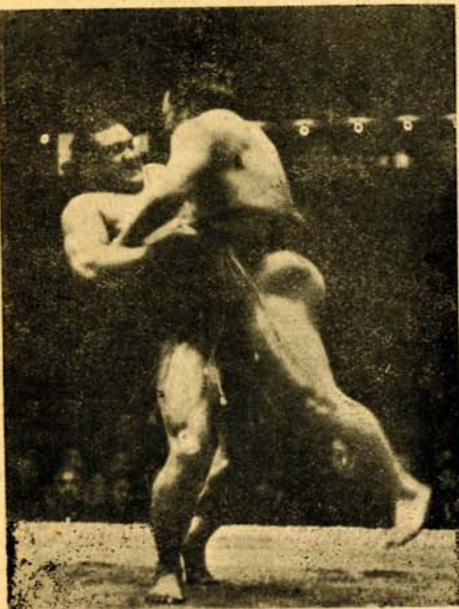
「あなたは毎日學校へ行きますか」

この英語は何となりますか。勿論

Do you go to school every day?

で、Do 主語 原形動詞? といふ公式によつてみます。Do は助動詞で、「～しますか」「～するか」といふなみの疑問文にはいつもこれを用ひなければなりませんね。

次にこれを過去のことにして、「～しましたか」「～したか」と尋ねるには、Do を過去にするだけでいいので



す。Do の過去形は何でせうか。これは動詞の do (爲す) の過去形と同じですから、did でいいのです。

この場合に後の動詞までも過去形にしてしまはないうやうに注意して下さい。

それで「～しましたか」は Did 主語 原

形動詞? といふ形になります。題を國技館に移ませう。

「あなたは昨日 國技館へ行きましたか」

「國技館」は Kokugikan ですが、かういふ誰れでも行く建物。即ち公共建築にはいつも the をつけるのが規則ですから、the Kokugikan となります。「昨日」は yesterday です。あとは分りませう。

Did you go to the Kokugikan

yesterday?

これでいいわけですね。前に言つたやうに初めの間は go を過去の went にして、よく Did you went to —? とやります。疑問文では Did go = went ですから、かうする必要はありません。

同じやうな文をもう一つ作つてみませう。題は「あなたは今朝早く起きましたか」です。「起きる」は御存じの熟語で get up です。するとこの日本文は

Did you get up early this morning? となります。

次に上の問いに對して「～しませんでした」「～しなかつた」と答へるのはどういふでせう。これも先づ「～しません」「～しない」といふ現在の形を思ひ出して下さい。すると疑問の時と同様、do を使つて主語 do not 動詞の公式によりますね。例へば、

「私は今日學校へ行きません」  
なら、申すまでもなく、

I do not go to school today. となります。そこで、これを過去にする爲には、do not を did not にするだけでいいのです。では、題を出ませう。

「いえ私は昨日 國技館へ行きましたか」

No, I did not go to the Kokugikan yesterday.

又は場處の名を there (そこへ) にして、

No, I did not go there yesterday.

でいいのです。

けれど、もし國技館へ行つたのだとすると、どうなりますか。

Yes, I did go there yesterday. でせうか。いや、打消しでない文には、go の過去形をそのまま使へばいいのですから、

Yes, I went there yesterday. ですね。この區別をよく覚えて下さい。Do と did は疑問文か打消しの文(=否定文)の他は使はないのです。

では上の第二の疑問に答へて、「いえ、今朝は早く起きませんでした」

「はい、今朝早く起きました」  
と言つてごらん下さい。

No, I did not get up early this morning.

Yes, I got up early this morning.

となるでせう。got up は get up の過去形です。

尤もかういふ答に一々疑問文の中の言葉を繰り返さなくても簡単に

No, I did not.

Yes, I did.

と言つてもいいわけで、普通にはこの方と言ひます。



